

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 リサージェンス・スペシャルエディション	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.450	△RG 0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール**

フレアーの幅  
[ ] インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  
3 3/4 インチ

研磨剤

**比較対照ボール：Power Swing**

フレアーの幅  
[ ] インチ

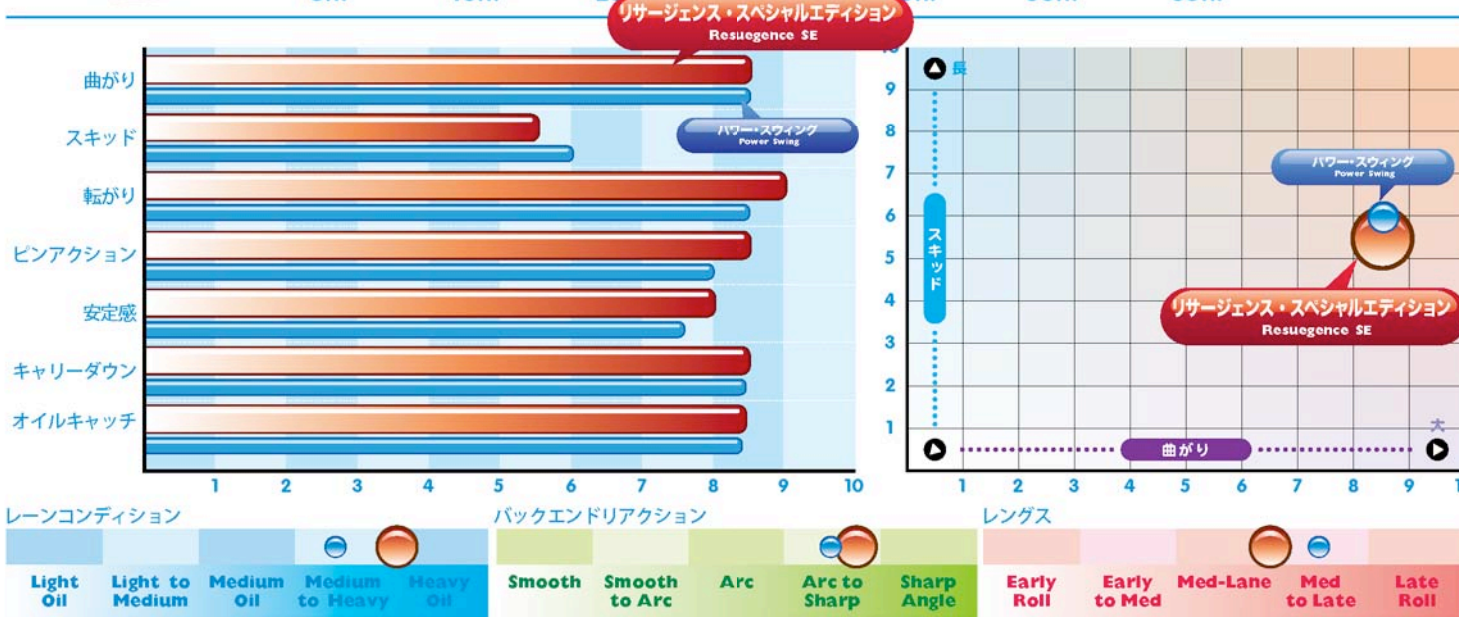
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  
3 3/4 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

あのボウリング界で伝説を作り上げたその時、山本勲プロジャパンオープンでテレビ決勝パーフェクト樹立前、彼は二つのボールチョイスで悩んでいました。一つはもちろんモーメンタムスウィング。そしてもう一つは今回発売するリサージェンスSEだったのです。結果的にみればそのモーメンタムスウィングでパーフェクトゲームを達成したのですから選択は間違っていないかったです。しかし大事な決勝の場でのボール選択は非常に重要なもの。その候補にあがった信頼性あるボールを今回ご紹介いたします。

リアクションを3段階に分けると、初代リサージェンスよりもスキッド感があり、ミッドエリアでの動き始めは同じくらい。バックエンドリアクションは初代リサージェンスより切れるイメージを感じます。

今回採用されたNEW ERA MAXXリアクティブは、特にドライゾーンでの反応が強くでる素材で、初代リサージェンスより先での動きが強調されていてもオイルキャッチ等は差ほど変わらぬ印象を感じるのがこのボールの特徴です。

比喩的表現で言えばオイルを”えぐる”初代リサージェンスと”えぐりながら走る”リサージェンスSEという感じでしょうか。初代リサージェンスは手前からオイルをえぐる感じがして、用途的にはヘビーオイル用と感じられたのが、このリサージェンスSEはヘビーオイルからミディアムヘビーへと幅広い用途で使用でき、投げるボウラーも幅広く良いリアクションイメージを持って頂けると思います。

リサージェンスのバックエンドリアクションを攻撃的に強化。その仕上がりは賞賛に値します。

### 特記事項

**初代リサージェンスより幅広いコンディション・ボウラーに対応。オイルをえぐりながらもバックエンドで攻撃的に曲がるリアクションを是非お試しください。**